

会議録

会議名 (審議会等名)	相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通)		
開催日時	令和5年9月6日(水) 14時00分～15時58分		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	7人(南区長、副区長、他5人)	
公開の可否	可	不可	一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由	<p>1 開会</p> <p>2 区長挨拶</p> <p>3 議題</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 第7期区民会議 第2回から第4回までの振り返り(報告)</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 無作為抽出型区民討議会について</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 運営委員会について</p> <p style="margin-left: 40px;">イ 討議テーマについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>		

審議経過

主な内容は、次のとおり。（ は委員、 は事務局の発言）

1 開会

2 区長挨拶

加藤南区長から挨拶を行った。

3 議題

（１）第7期区民会議 第2回から第4回までの振り返り（報告）

資料に基づき事務局から説明

（２）無作為抽出型区民討議会について

ア 運営委員会について

資料に基づき事務局から説明

南区の目指す将来像である「沸きおこる7つの風 響きあう南区」の実現は、これまでアンケートを実施されてきたものの実現に向けた取組と理解してよいでしょうか。（石森委員）

市の総合計画で、南区の基本計画があり、その中で区の特徴や現状、課題などを踏まえた区民とともに作る南区の目指す姿を定めている。「沸きおこる7つの風」は、南区の七つの地区を指し、互いに7地区から自発的に生まれた魅力や地域づくりのための様々な取組を表している。「響きあう南区」はあらゆる世代の人と人、地域と地域、区民と行政が互いに交流、尊重、協力してまちづくりを進めることを表したものになっている。

今回の無作為抽出型区民討議会は、令和元年に実施した際のもの参考としてお示ししており、50歳以上の方を400人、24から29歳の方を1,000人、16歳以上23歳を1,600人という形で、無作為に抽出いたして発送しました。この方たちからおおむね60人程度の参加の回答があり、実際には当日は40人が参加していただいた会議になっています。

アンケートの回収率はどうだったのか、その上でこの討議会に参加され、希望された方が60人というような点と、あと住民基本台帳からこの当時の世代間交流のための仕組みづくりというテーマでこの割合、400人、1,000人、1,600人ということですけど、今回新たに実施しようとしている討議会の場合は同じ割合ということではなくて、今期のテーマに合わせた割合ということではよいのでしょうか。（石森委員）

アンケートの回答率は、3,000人に対して、回答は413人で、13.6%という回答率でした。年代別の対象者の割合は、これから運営委員会でこのテーマに沿って議論し、次回の区民会議に提示させていただき、承諾を得ながら先へ進めていく。前回の年代別では、10代の方が8人、20代の方が9人、30代の方が8人、40代の方が6人、50代の方が3人、60代以上が6人というような形で実施した。

前回のアンケート結果を見たら、よいことが書いてありました。この区民会議がどういう形でその結果を反映させていくのかと思っている。(松嶋委員)

区民会議は区で活動している団体、公募委員、学校関係者、それぞれの立場で南区について住んでいる人々の住民意識をどうやって高めていけるだろうかとか、相談をしていく場だと思っている。(大木委員)

その結果を何かうまく反映するような方法ですよね。現実に我々が住民と接しているのは自治会などいろいろな会議でやっているの、そこはいろいろな意見があると思っています。(松嶋委員)

今までに区民会議で検討してきた成果物があります。それを新しい委員さんに、古くても配ることが必要なのかなと思いましたので、南区流ファシリテートスキルやまちづくりのトリセツといった成果物を配布して、委員さんに周知を図ったほうがよいと思う。(大木委員)

このような多くの人が集まっている中で話し合った内容は少しでもフィードバックとかは必要だと感じている。(渋谷委員)

過去の資料に関して閲覧できるサイトはなかったですか。(井坂会長)

ホームページで閲覧できます。

過去の経緯を見ていただくと同時に、今取り上げているものは、地域活動の活性化の取組、ある程度ザクツとした言い方で言うと、問題意識としては自治会活動がうまく必ずしもこの先もずっと本当に機能していくかどうか分からないような状況。まさに働く世代ということもありましたけれども、その働く世代が参加しやすい地域交流、あるいはしたくなる地域交流は何だろうか、あるいは一部の人に負担が偏っていて、もう役員やりたくないから自治会に入らないという高齢の方もいらっしゃるのか。でも、地域活動が崩壊することによって逆にリスクも、いろんなことがあることも皆さん共有している中で、どうすればよいかというのがここから先の議論だと思います。(井坂会長)

空き地ができるとまた建て売りができて、新しい子育て世代が入ってくるという、まちとしては望ましい状態であるにもかかわらず、まちのインフラ的なものに不安を感じている。区民会議を通して、こういったアンケートから出た市民の声みたいなものを拾い上げて、そ

れを市にお伝えするとか何か形にしていくというのが、今までの議論を聞いてきた理解ですけれども、よろしいでしょうか。（石森委員）

まさに私自身は、自治会に指導するというよりも、市に対して提言をして、ぜひこの政策を実現してくださいと。これをやってくれないと自治会も動けませんよとか。ということがこの役目かなと。

今、石森さんからあったようなことというのは、この後に討議の内容についてちょっとまた触れていく時間をつくりたいと思いますので、その前に組織としての運営委員会についてここから立ち上げていく。実際は、先ほども説明がありました、主催は区民会議ですけれども、運営委員のメンバーに入っていて、いわゆる行動の主体となる組織をつくっていきます。その運営委員会は一体どういうものなのかということについて、事務局のほうから改めて説明をお願いしたいと思います。（井坂会長）

先ほど別紙で説明をさせていただいた討議会について、区民会議の25名の委員の中から3名程度、運営委員会の委員となっただき、運営協力の若者参加プロジェクト実行委員会と事務局である区政策課と一緒に、区民討議会の内容について検討していくものになる。

公募委員の石森さんと増本さんから受けてもいいよということでお返事をいただいております。

オンライン会議だったら出ますので、よろしく願いいたします。（松嶋委員）

委員の選任、今取りあえず出ております、公募委員の石森さん、増本さん、それから今日、松嶋さんと、今3名の方から運営委員にぜひということでお申出をいただいておりますけれども、まずこの3名の方に運営委員をお願いするということに対しては、特に異存はございませんでしょうか。（井坂会長）

（異議なし）

今立候補いただいております3名に関しては、お認めいただいたということで。今日お休みがいらっしゃるので、石森さんと増本さんと、それから松嶋さんをお願いするということで進めていきます。（井坂会長）

イ 討議テーマについて

資料に基づき事務局から説明

区民会議のテーマは、地域活性化のための取組方法を検討するというところで、第1回目のときに委員の総意でテーマが決まり、それに沿っているいろいろな部分の話をしていますので、討議会の開催名称は「わいわいみんなで語ろう」、このテーマに沿ったものが入ることがメ

インの柱かなというふうに思う。人数が少ないので、あまり難しいのかもしれないが、世代にプラス、クロスですね、地域性、地域のそれぞれの散らばりをつくっていただきたいと思う。（渡辺（幸）委員）

私は、結構長くここに参加していて、ずっと見てきまして、具体的な形として残していません。多分このコロナ禍で空回りしてしまったのかなと。例えば子育て世代、これは各近隣の市町村が、綾瀬とか大和とかみんな大事にしている。相模原もそうだと思いますが、そういった重要な人たちが中枢に入ってもらって、そこからニーズを引き出すみたいな形を取るのが一番よいと思う。（草薙委員）

子育て支援に携わっているので、子育て世代にぜひ焦点を当てて、こどもまんなかで国もテーマを今挙げて、いろいろ変わってくるところかなと思うので、相模原市も子育て世代を大事にしているよと。ぜひ子育て世代に魅力あるまちづくりについても、具体的に私がテーマを挙げるのは難しいですけども、議論ができるような会議であればよいと思う。（渡辺（美）委員）

自治会とか、それから、ここにいる行政の方も出ています。若い人の活性化を考えていこうということで皆さん徐々にやってきて、先ほど言われたように本当に無駄のない会議だと思います。だから、焦らずゆっくりと、そしてみんなでアイデアを出し合いながら、会長さんがこれから取りまとめて、皆さんをどういう方向に引っ張っていくのかだと私は思う。（鈴木委員）

学生を中心に、やっぱり大学でもSDGsについて結構議論したり、どういう取組をやっているのかを調査する機会が多いので、それを含めて、7地区の企業とか公共施設にそのSDGsをアピールできる取組を見つけてみようみたいな討議をして、その討議会を完結型で終わらせるというよりは、それをまた紹介して、一つにまとめていって、外にも発信できたらよいなというのが一つと。

二つ目が、コロナ明けのタイミングでせっかく今外出がしやすい状況になっているので、それぞれの7地区の魅力を、観光地とかを発信していくために、それを一緒に上げていこうみたいな討議会ができると面白いと思う。（横山委員）

あまり具体的に子育てとか何かのテーマを絞ってしまうのではなくて、地域活性化のために何ができるというようなテーマのほうがいいのではないかと。そうすると、いろんな立場でいろんな方が発言できると思います。この7期で、取組方法は何ですかと言われたときに答えが出せるような運営委員会のテーマと回答であってほしいと思うので、このテーマにしましょうというのではなくて、地域活性化のために「もしかしたら、私は何ができる。」と

か、皆さんができるような形にしたほうが私はいいのではないかなと思う。（井部委員）

無作為で抽出する際もテーマは各論ごとに、教育、子育て、観光、文化、スポーツ、このようなカテゴリーがあって、その中でどれを選びたいですかというような、もしも来ていただけるのだとしたら、無作為で市民の方々が来ていただいたときには自分がその思いを持って、迎え入れられるような状況というのもありなのではないかなと思う。（九嶋委員）

過去2回を見ていると、地域活性化という言葉がすごく出てきています。特に大切なことを一つか二つに絞って、討議してもらったほうがたくさんの意見が出ていいのではないかな。（草薙委員）

私の得意分野は、やっぱり防災関係です。南区というのは、万が一何かあったときには本当に自助・共助でもって、みんながとにかく助け合い本当にいいまち、極端に言うと一つのテーマにしてもいいのかなというふうに思う。（田村（久）委員）

この討論会に40人来られる方、こういう議論に参加すること自体が地域活動そのものじゃないかなというふうに思います。その前段として思いついたのが、まずその回収率が低いんですよね。直接討論の内容ではないですが、工夫してもいいのかなと思う。（金森委員）

討議会のテーマについて、教育を提案しようと思います。具体的に言えば 教育、の部分とつなげて中身を考えてもらうような。ハード面よりもむしろソフト面のほうで対応できるのかなと。これは今いろんなところで出てきたSDGsの話とか、文化をつくっていく教育とか、子育て世代の話も多分これはまさに子育てという意味での教育でしょうし、何か一つ今出てきたお話全部に通じるキーワードとして、教育は使えそうと思ったところです。（隈本委員）

今一巡したところで、私のほうで今ずっと皆さんの話を聞いていて、まず一つ、はっきりしているのは、とても一つにはまとめることができないなというのは実感しました。ただし、地域活性化という大きなタイトルは必要だと思います。幾つかのテーマ、こういうことをその中で実際に話し合おうと思います。ぜひご興味があるジャンルのところに参加してください。大きなことと同時に小さな項目もきちっと上げていくと。

もう一つは、今ずっと自治会の話が出てきていますが、先ほど草薙さんがおっしゃった文化というのはつくっていくものだとする、組織というのも実はつくっていくと。今ある既存の組織を全部壊せということではないですけども、何かそうやってそれぞれのテーマの中で話すと、結局これとこれって、もしかしたら住民の協力がないと無理だよ、だから自治会を大事にしようとかというようなことがもしかしたら醸成されてくるかもしれない。私としては今伺った、大きなテーマはずっと地域活性化のことをやってきました。その中で

具体的にこういう問題があると、ぜひそういう細かい自分の興味のあるところに参加してもらえませんかというような呼びかけをしてはどうかと思っていた。（井坂会長）

地域の活性化を大事にした話合いにしたほうがいいのではないかなと思ったので、サブタイトルぐらいは要るのかなと考えた。（大木委員）

ほぼ大木さんの話とイコールですが、要するに地域活性とは何ぞやと、やっぱりそういうところを議論する場であってほしいと私は今までの皆さんの話を聞いていて思いました。なので、皆さんが考える地域活性って何ですかというテーマにして、話し合っていくのがいいのかなと思っている。（松嶋委員）

7つの風、7地区。地区ごとにある程度特徴みたいなものが分析できるぐらいのデータが出てこない、このアウトプットの制度としてはちょっと足りないのかなという気がする。（石森委員）

7地区にはそれぞれまちづくり会議というのがあって、その地域でいろんな課題、活性化する課題を我々捉えて議論をしている。相武台地域としての課題は、地域活性化はどうすればよいかとかいうのはそういう中で一応少しは話をしている。（松嶋委員）

最終的には運営委員会でお話をいただくということで、結構割としっかりいろいろと意見交換ができたかなと思う。今日の段階で言うと、その地域活性化という大きなテーマの中で、具体的なテーマについて検討を進めていただいて、また次回の区民会議で話を戻すという形で進めていきたいと思うが、あとは、運営委員会にお任せするという形でよろしいでしょうか。（井坂会長）

（異議なし）

4 その他

金森委員からまちづくりフェスタ、地域づくり大学について情報提供。

隈本委員から「極刑」市民参加型の模擬裁判演劇について情報提供。

田村（小）委員から相模RANBUについて情報提供。

大木委員から第43回の大野南ふるさとまつりについて情報提供。

5 閉会

相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	田村 小次郎	大野中地区まちづくり会議		出席
2	大木 恵	大野南地区まちづくり会議		出席
3	中嶋 勝平	麻溝地区まちづくり会議		欠席
4	穂刈 健二	新磯地区まちづくり会議		欠席
5	篠塚 実希子	相模台地区まちづくり会議副		欠席
6	松嶋 保和	相武台地区まちづくり会議		出席
7	田村 久司	東林地区まちづくり会議		出席
8	鈴木 貴市	相模原南交通安全協会		出席
9	佐田 昌史	相模原市民生委員児童委員協議会		欠席
10	草薙 喜義	相模原市社会福祉法人経営者協議会		出席
11	渋谷 典彦	相模原市地区社会福祉協議会連絡協議会 南区連絡会		出席
12	渡辺 美帆	子育て親育ち応援団 With.cfc		出席
13	東 正充	相模原商工会議所		欠席
14	九嶋 俊彦	相模原青年会議所		出席
15	井部 弥生	相模原市民文化財団		出席
16	横山 日南	さがまち学生 Club		出席
17	井坂 聡	相模女子大学人間社会学部 教授	会長	出席
18	吉田 貴子	女子美術大学芸術学部 教授		欠席
19	田中 美加	北里大学看護学部教授		欠席
20	石森 寿幸	公募委員		出席
21	渡辺 幸雄	公募委員		出席
22	増本 敏康	公募委員		出席
23	金森 巖	相模原町田大学地域ｺﾝﾈｸｼｮﾝ業務部部長補佐 市民・大学交流センター所長		出席
24	隈本 光	南区若者参加プロジェクト実行委員会		出席
25	長瀬 徹	ジェイコム湘南・神奈川 相模原・大和局		欠席